

【重点事業】

平成 29 年度は重点事業として、以下のような事業を実施した。

① 会員の増強

- ・技術管理者講習会において、当協会案内パンフレット、「環境技術会誌」等を置くなど、会員の増強を促進した。
- ・技術管理者講習修了者に対して、廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）への申込書を配布するなど、技術管理者 CPDS とリンクした会員増強策を実施した。
- ・会員のメリット向上のため、新たに協会ホームページ「会員のページ」に協会誌のバックナンバー掲載を検討した。
- ・廃棄物処理関連団体に対し、賛助会員または団体会員入会の勧誘を行った。

② 技術管理者等 CPDS の実施

- ・技術管理者講習修了者に対して、技術管理者 CPDS 案内パンフレットを配布し、参加者の増強に努めた。
- ・当協会独自の称号については、称号付与の基準を明確化し、所定の要件を満たした登録者に該当する称号を付与した。

③ 協会設立 50 周年事業の実施

当協会は本年 11 月 24 日で創立 50 周年を迎えた。

そこで、協会設立 50 周年事業として、会誌、中央研究集会、セミナー、記念式典、懇親会などの事業を特別に企画・実施した。

【事業報告】

1. 普及啓発事業

(1) 広報・出版活動

1) 「環境技術会誌」季刊発行（1 月、4 月、7 月、10 月）

本誌は、紙面の充実を図るとともに会員へのサービス向上を目的として、季刊の年 4 回に加え、協会創立となる 11 月に 50 周年記念増刊号を発行した。

本年度は、新たに「廃棄物処理施設の運転・管理上のトラブルに学ぶ」を特集テーマとして編集し、さらに 50 周年記念号では賛助会員企業の最先端技術の紹介コーナーを設けた。このように、本誌を通じて会員からの情報提供を得ながら、会員の資質向上と会員相互の情報交換の場となるように努めた。

第 167 号（平成 29 年 4 月）

第 168 号（平成 29 年 7 月）

第 169 号（平成 29 年 10 月）

創立 50 周年記念特別号（平成 29 年 10 月）

第 170 号（平成 30 年 1 月）

(主な記事)

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・専門委員会報告
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

2) ホームページの運営

廃棄物情報の提供、会員との情報交流並びに当会の情報公開の場として運営を行った。現在会員のページには、平成28年度から廃棄物処理法入門コーナー、メールマガジンのバックナンバー等に加え、新たに全方位検索型環境法令集を掲載している。

3) メールマガジンの配信

会員へのスピーディな情報発信のため、会員の希望者には毎月メールマガジンを配信した。

(2) 研修会・講習会の実施

1) 第38回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者 CPDS 認定）

本集会は本協会会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として、最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催した。

開催日：平成29年6月28日（水）、10時00分～16時55分

会場：連合会館

内容：①廃棄物処理行政の動向

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部

②IoT、ICTやAIの最先端技術の活用による廃棄物処理と維持管理

収集運搬から中間処理等10テーマ程度の事例発表

2) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上が技術管理者にとって重要である。

平成29年度はCPDSを開始して5年目になるので、所定の要件を満たした登録者には、当協会独自の称号を付与した。

3) 技術管理者 CPDS 認定「廃棄物処理施設技術管理セミナー」

当協会では、会員並びに技術管理者など廃棄物処理施設の維持管理に従事する方々のスキルアップのため、セミナーを開催した。

開催日：平成30年2月20日（火）

会場：エッサム神田ホール2号館 3階大会議室

4) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施した。

福岡会場：平成29年11月8日～11月10日

岡山会場：平成29年11月29日～12月1日

(3) 第12回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会（技術管理者 CPDS 認定）

技術管理者の情報交換を行うため、以下の研究発表会等を開催した。

会 期：生活と環境全国大会（平成29年10月18日（水）～10月20日（金））

事例研究発表会は平成29年10月20日に実施した。

会 場：四日市市（四日市市文化会館）

内 容：廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会

(4) 各種表彰

1) 環境大臣表彰

環境大臣表彰の中央推薦の基準に基づき、当協会会員を推薦し、以下の方々が受賞した。

①平成29年度「一般廃棄物関係事業功労者」

高橋 七郎 株式会社オフイスセブン 代表取締役

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 理事

②平成29年度「産業廃棄物関係事業功労者」

関 壽彰 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 理事

③平成29年「廃棄物・浄化槽研究開発功労者」

武藤 正浩 関東道路株式会社 代表取締役

2) 第61回生活と環境全国大会（平成29年度）大会長感謝状

大会長感謝状の中央推薦団体として2名を推薦し、以下の方々が受賞した。

①原田 利明 協業組合公清企業 代表理事

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 理事

②石井 進 元所沢市東部クリーンセンター 主幹

前 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 代議員

3) 会長感謝状

永年に亘り、会の発展に尽力した会員に対して会長感謝状を贈呈した。

4) 年間論文賞

会員からの環境技術会誌、支部会誌の投稿を対象とした優秀論文を表彰した。

①優秀賞：秋山周司 極東サービスエンジニアリング㈱

「破碎・リサイクル処理施設の爆発事件事例／破碎・リサイクル処理施設の爆発抑制、安全管理体制の構築他（環境技術会誌165号、166号）」

②優秀賞：土屋 博正 三機化工建設㈱

「流動床式ガス化溶解炉における流木処理について（環境技術会誌167号）」

③優秀賞：伊東 孝廣 古賀市海津木苑

「し尿・汚泥再生処理施設 施設の処理工程別トラブルと対処法（環境技術会誌168号）」

④功労賞：藤本 和伸 住重環境エンジニアリング㈱

「JEMA レポート ごみクレーンにおけるプログラマブルロジックコントローラー（制御用PLC）の更新について（環境技術会誌166号）」

⑤奨励賞：村上 慧、柳 信雄 東京二十三区清掃一部事務組合

「一般廃棄物処理施設のトラブル対策 第1章 概説及び故障等発生状況
について（環境技術会誌 167号）」

(5) 地区協議会活動への支援

1) 設立の支援

- ・地区協議会設立契機提供事業（出前事業）については、要請がなかった。
- ・地区協議会設立のために支援については、要請がなかった。

2) 活動への支援（行事・講師派遣等）

2. 技術支援事業

会員等に対して、本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術相談業務を実施した。

3. 事業推進のための会議等

(1) 第8回定時社員総会の開催

日 時：平成29年6月27日（火）、14時00分～15時00分

会 場：東海大学校友会館

議事等：①理事・監事の選任の件

- ②名誉会員選出の件
- ③平成28年度事業報告の件
- ④平成28年度収支決算の件
- ⑤平成29年度事業計画の件
- ⑥平成29年度収支予算の件
- ⑦平成29年度国等への要望事項の件
- ⑧その他

(2) 理事会の開催

1) 第23回理事会

日 時：平成29年5月25日（木）、14時00分～16時00分

会 場：連合会館

議事等：①平成29年度30年度代議員選挙結果及び役員候補者の選出

- ②平成28年度事業報告の件
- ③平成28年度収支決算の件
- ④国等への要望事項（案）の件

2) 第24回理事会

日 時：平成29年6月27日（火）、15時00分～15時30分

会 場：東海大学校友会館

議事等：①代表理事選定の件

- ②平成29年・30年度副会長、業務を執行する理事（専務理事）の選定及び
名誉会長・顧問・名誉会員選任の件
- ③その他

3) 第 25 回理事会

日 時：平成 30 年 3 月 22 日（木）、14 時 00 分～16 時 00 分

会 場：連合会館

議事等：①平成 30 年度事業計画の件
②平成 30 年度収支予算の件
③その他

(3) 部会等の開催

1) 運営部会

開催日：平成 29 年 5 月 18 日（木）、8 月 21 日（月）、11 月 10 日（金）、
平成 30 年 2 月 15 日（木）

議 題：①組織の運営・管理に関する事項
・事業計画、予算及び決算に関すること
・会員の増強に関すること
・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること
②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
④会員の表彰等の選考調整に関すること
⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

2) 編集委員会

開催日：平成 29 年 12 月 22 日（金）

議 題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること
②刊行物に係る業務に関すること

3) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度運営委員会

開催日：平成 30 年 3 月 8 日（木）

議 題：①継続教育システムの検討
②教育内容の検討
③評価制度の検討

4) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度試験委員会

開催日：平成 29 年 6 月 1 日（木）

議 題：①継続教育システム称号付与の審査関連業務

4. 協会創立 50 周年記念事業

当協会が創立されて、平成 29 年 11 月 24 日で 50 周年を迎えた。

そこで、総会・理事会・中央研究集会とリンクし、総会・理事会の開催後に CPDS 称号授与式・懇親会を実施した。

日 時：平成 29 年 6 月 27 日（火）、午後 4 時 00 分～8 時 30 分

場 所：東海大学校友会館

また、50周年記念会長感謝状を第61回生活と環境全国大会の廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会の場で贈呈した。

開催日：平成29年10月20日（金）

会場：四日市市（四日市市文化会館）

5. その他の事業

- 1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行った。

①廃棄物団体連合会など関連団体

②第61回生活と環境全国大会（平成29年度）の協賛、その他関係団体の行事等の協力

7. 組織運営

(1) 財政の健全化

1) 入会促進

（一財）日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進した。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、賛助会員の入会を促進した。

2) 新規事業の推進

継続学習制度、廃棄物セミナー及び廃棄物処理に関する技術支援業務等の推進を行った。

(2) 国等への要望行動等

技術管理者に関連する事項について、環境省に要望行動を行った。